

最後まで仲間を信じて



特別版

錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

236号
2017夏

チーム錦城でつかんだ

128校中ベスト16の快挙!!

1面:5回戦を終えて

2面:インタビュー大特集!

野球部西東京大会ベスト16

野球部は第99回全国高等学校野球選手権大会西東京大会第4回戦で都立
拝島高校を破った。第5回戦では佼成学園高校に敗れベスト8には届かなか
ったが、2年ぶりとなるベスト16入りを果たした。

白熱した5回戦

7月22日(土)、第99回全国
高等学校野球選手権大会西東

京大会の第5回戦、佼成学園と、厳しい滑り出した。4
高校との試合が府中市民球場
で行われた。
錦城は1回表から2失点



大勢の観客が見守るなか、猛暑に負けない熱い戦いが繰り広げられた



逆転へバットを振る岡部くん(3D)

に1点も取ることができず
苦しい戦いが続く。しかし5
回裏、1アウト満塁となり錦
城にチャンスが回ってくる。
勢いに乗った錦城はようやく
1点を取り返し錦城側スタン
ドはその日一番の大盛り上が
りを見せる。なおも1アウト
満塁の場面、犠牲フライで2
点目を取り返す。その後6回
表を1失点に抑えると、6回
裏、好調な滑り出して2アウ

ト1塁の場面、フェンスにま
で打球が飛び1点を取り返す
が、次のフライを取られその
回は終わってしまう。錦城は
奮闘を続けるが、8回表に2
点を追加され、10対3でコー
ルド負けとなった。



部員を励ます小筆主将

野球部の全4戦には、吹奏
楽部やダンス部を始めとした
錦城生、卒業生や錦城の先生
一般の人も詰めかけ、野球部
の健闘を見届けた。(鴉)

最高の経験できた

主将の小筆陸太くん(3B)
は「後悔はありません。でもや
つぱり1年間しんどい思いを
してきたので悔しさがかなり
あります」と涙ぐむ。敗因は1
つではないが、キャプテンと
してみんなを勝たせてあげた
かったと語った。試合中、劣勢
でも決して諦めなかったと話
す小筆くんは「相手に最後ま
で食らいついて、追いついて
絶対勝つんだ」という心持ち
だったと振り返る。

来年は引っ張っていつてほし
い」と期待を口にしている。
「たくさんの方に応援して
もらい後輩も頑張ってくれ
て、後にも先にもなかなか
い試合ができたので、最高の
経験になりました。これらを
糧にしてこれからも生きてい
きます」と支えてくれた人た
ちへの感謝と共に意気込ん
だ。(棟)



リベンジを誓う椎名くん

先輩の気持ちを胸に
今日の試合について椎名仁
太郎くん(2C)は「最初はミ
スが続いて打線も繋がらな
かったけど、途中2、3点取れて
嬉しかったです」と振り返る。
試合中印象に残ったのも5
回に2点を取り返した場面だ
そう、チームメイトに「ここ
から繋いで逆転しよう」と声
をかけたという。

2回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
都立国立	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
錦城	1	0	0	0	0	0	2	1	X	4
3回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
成城学園	0	1	0	0	2	0	1	0	0	4
錦城	3	0	0	0	0	0	2	4	X	9

4回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
都立拝島	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
錦城	3	0	0	0	0	1	2	2	X	8
5回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
佼成学園	2	0	2	3	0	1	0	2	X	10
錦城	0	0	0	0	2	1	0	0	X	3

でプレーすることだそうで
「ベスト8に入って、自分た
ちが先輩たちを神宮球場に連
れていきたい」とリベンジを
誓った。(紅)